

木通 もれ日 信

Komorebi Tsushin

第26号

平成18年10月
つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達市月館町下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
休館日/毎月第1、第3火曜日(休館日の前日は17時まで営業)
つきだて花工房ホームページ <http://odehime.or.jp/hanakobo/>
つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続けるみなさまの公共施設を目指します。

花のアルバム

アルバムの
26ページ

コスモス

秋風にダンス・ダンス・ダンス。ダンス
しあわせの空を仰いで咲く花は
秋桜と書いて コスモス
桜前線があるように
秋にはコスモス前線があるという
懐かしく 穏やかに
北から南へと
日本列島を染めてゆく



風に揺れるピンク色のコスモス
(つきだて花工房)

四季の移ろいを感じる日本の秋の風景には、風になびくコスモスの花がよく似合います。一面に広がるコスモス畑も心洗われますが、田舎の庭の片隅に咲く数本のコスモスが、目溜りに包まれて揺れる光景は、どこか懐かしく、心が優しくなっていくのを感じるものです。



阿武隈の山並み・青い空
宙にとどきそうに咲くコスモスの花 (交流館もりもりから)

コスモスが日本に渡来したのは明治12年頃。イタリアの芸術家ラッザが、工部美術学校の教師として来日した折に種子を持参し、明治末期には全国に普及、各地で栽培されるようになりました。在来種は白、ピンク、紅の3色でしたが、現在では品種改良により多くの新品種が作られています。多年草のチヨコレートコスモスは、なんとチヨコレートの香りまでするそうです。

小宇宙コスモス

コスモスの語源はギリシャ語のコスモスに由来するもので、「秩序」「調和」「美」をあらわしています。夜空に輝く星たちが美しく揃う宇宙のように、花びらが整い、咲くことからその名が付けられました。可憐な花からは想像できない生命力を持つコスモスは、雨、風に倒れても、また宙に向かって花を咲かせます。北から南下するコスモス前線、各地でさまざまな表情見せるその姿は、まさに地上の小宇宙です。

きのこの山

つきだて交流館の直売所によくよりのキノコが並びました。今日はシヤカシメジ、ナラタケ、コウタケ、そして、ちよつとかわいいマツタケでした。春の山菜同様に、秋のきのこは大地からの大切な贈り物です。キノコは採れる地方によって呼び名や調理の方法も違ってきます。この辺りではコウタケのことをイノハナと呼びます。その姿がイノシシの鼻に似ているからです。香りのよいイノハナは、乾燥すると更に香りが強くなり、水で戻して炊くイノハナご飯は絶品です。



やさしい工房で販売されていたキノコ出品者は、朝、陽の昇らないうちから山に出かけるそうです。



拝啓 みなさま お元気ですか

拝啓 青空高く、見上げれば赤とんぼ：秋の風が移ろう季節を知らせてくれる今日この頃です。

みなさま、お元気にお過ごしですか？

つきだて花工房、オープン10周年の夏は、たくさんのお客様とともに、駆け足で過ぎてゆきました。新しい出会いがあれば、10年越しの再会もありました。思いがけぬ祝福のお便りもいただいたりと、10年という節目の夏は、あらためて感謝の気持ちでいっぱいでした。季節はもう秋：黄色の空と、夕陽が山並みに沈む光景が心に染みる季節です。このふるさと美しい風景は、つきだて花工房の大きな財産です。どうかこれからも、この至福の時間を多くの方々と共に過ごすことができますように。皆さまのお越しをスタッフ一同、心よりお待ちしております。

敬具



ネイチャーキッズに参加したお友だち
（つきだて花工房・遊歩道頂上で）

まさか! のときの生き残り塾

【鮫川村・あぶくまエヌエスネットのみなさま】

講演、ラジオ、テレビなどで幅広く活躍の進士徹さんが、子供たちを連れて、夏の野外プロジェクト・ネイチャーキッズの最終日をつきだて花工房で過ごされました。14日間、便利な暮らしをひと休みした子供たちは、自然の中で自分の手足で生き抜く力を呼びおこし、この夏、確実にたくましくなりました。きっと「にこり水を飲み水に変え、30秒で焚き火をおこし、空き缶と新聞紙でごはんをたく方法」を、マスターしたはずですよ。(進士徹著・まさか!のときの生き残り塾:家の光協会)



1日目は9年間で初めての雨
ハンカチ落としをしたり、いつもよりゆっく
りお風呂に入ったりお絵かきをして過ごしま
した。さいたま市・本郷学童保育所のお友だち

来年の夏も元気な笑顔待っています!

【さいたま市・本郷学童保育所のみなさま】

今年で9回目の夏、1年目に来てくれたお友達は、もう高校生ですね。「月館に来ると、カエルやセミの声、カブトムシやホタルに子供たちは大喜びです。塾で帰りが遅かったりしても、街はいつも明るいですよ。コンビニもあるし…。子供たちは、夜は本当は暗いものだと感じるようです」と、引率の山口先生がお話くださいました。秋のきれいな虫の声も聞かせてあげたいです。



つきだて花工房のうちはげばなし



▲蓬萊短歌会の皆さま 「秋の吟行会」
講師/川上隆司先生
（「新アララギ」、福島県歌人会常任委員）

蓬萊短歌会の皆さまの吟行会が9月1日、つきだて花工房で行われました。会長の菊地様は、オープン当初から、つきだて花工房に足を運んで下さっており、今回の吟行会では、久しぶりのうれしい再会となりました。

思い起こせば夏の炎天下、草むしりをして汗だくになっていた姿に見かねてか、「大変だね」と声を掛けてくださり、車から軍手を出してそのお手伝いをしてくださいました。まだシルバー人材センターが充足していない頃は、すべてがス

面をつけ幼き子らと汗流す
暑中稽古は捨てた
咲き残る宵待草のひと木を
手折りにて歩む朝もやのなか
涼風に黄金の稲穂ゆらめきて
葉擦の音の今朝整々し
山百合の茎に逆さに止りたる
赤トンボ一つ風に揺れおり
鶴の尾押の浜に拾ひし貝殻の
むらさきさのうづ漣を思はず

（半澤 俊夫）
（坂本 清）
（翁野ミサヲ）
（佐藤 悠）

つきだて花工房に集うひととき



▲「また来たよ」と、いつも笑顔で声をかけてくださる月館福寿会の皆さま
（恒例のお誕生会）

敬老の日のお祝いを花工房で。おばあちゃんの手押し車を嬉しく拝見しました。
福島市・狗飼さまご家族



▲同級生の退職祝いの宴で「四季の歌」を合唱。
月館中学校卒業
「白樺会」の皆さま



「つきだて花工房10周年記念企画」

ご案内

●レディースプラン(12月25日まで)
*通常より4時間早い12時チェックイン

洋室1泊2食付(大人お一人様)10,000円

ウェルカムハーブティー、アメニティグッズ、ラウンジドリンク券、特製デザート付き



連載
7回目

Kenちゃんが歩いた Furusato no komichi

神々が住まう木々がある
幾年もの月日この地に根をおろし
里を見守る鎮守の森を探しに行こう



御幸山の観音堂の上、頂上も周辺の登山道右手に大きなケヤキの木があります。玄武岩の大岩の上に根を張るように生え、太い根が斜面に沿って数メートル伸びています。根本からは窮屈そうにカヤの小木が生えていて、まるでケヤキに抱きかかえられているようです。

【御幸山山頂付近のケヤキ】
(月舘町御代田字御幸山)



【八雲神社のケヤキ】
(月舘町下手渡字舘)
下手渡公民館前の道を北へ向かってすぐ、左手の民家の木戸口に「村社八雲神社」の石柱が建ち、その先に石の鳥居が見えます。更に先に進んで急な石段を登りきると、右手にこのケヤキがあります。

【トチノキ】
(月舘町布川字最登山)
粗く明るい灰褐色の樹皮、枝先に天狗のうちわ状につく大きな葉が特徴の木です。亜高山帯に多く、町内では東部の山地に多く自生しています。トチノキ科。トチの実は多量のでんぷんを含み、昔からカロリソースとして利用されてきました。アクを抜いてトチ餅などに加工されます。

ちょっと気の早い 2006年クリスマス計画

Herbal Xmas!

ハーブ農園教室



9月のハーブ農園教室の様子：
タイムで食欲の秋を演出
*農園で秋刀魚を焼きました *のど飴を作りました
*瀧田先生が作ってくださったキノコのシチュー(タイム入り)に、参加者の顔がほころびました。

日時：11月13日(月)
午前10時30分～
場所：つきだて花工房
ハーブ農園
講師：瀧田勉先生
受講料：1,800円
(材料費含む・お土産付き)
テーマ：ローズマリー
※冬からクリスマスに大活躍するローズマリーを使って、丸鶏のローストチキンやサラダづくりチャレンジします。

Flower Xmas!

フラワーアレンジメント教室



9月のフラワーアレンジメント教室：コラーージュ(壁掛け)づくりに参加されたご姉妹(伊達市)

日時：12月8日(金)
午前10時～
場所：つきだて花工房
講師：山中厚子先生
受講料：3,800円(材料費含む)
内容：ガーランドづくり
※ガーランドとは常緑樹などでつないだ花網。つないでひとつになるという意味がこめられています。

オープン10周年記念企画 バースデーコンサート&植物画展

3回目を迎えたチェンバロコンサート。今年には10周年を記念して、贅沢な出演者をお迎えし、昼と夜の2部にわたって演奏会が行われました。



平成18年8月8日 記念日当日
終演後、仁志田市長やお客様を囲んで記念撮影

プログラムにはない、突然のハッピーバースデーの歌。ご来場のみなさまのハーモニーと、バロック演奏の響きがひとつになった、しあわせいっぱいバースデーコンサートでした。



写真左：若松さんと宮城県から親子で作品展にお越しくださったお客様

廊下に飾られた作品は、館内の雰囲気をやさしく、温かくしてくれました。
似顔絵も描く若松さんは、滞在中、貴重なお時間を惜まず、宿泊者や入浴者、また、スタッフの特徴たっぷりの似顔絵を描いてくださいました。

和の菓子づくり

福島・フルーツの恵み
秋のひとしな
旬の味わいに
心を込めて

梨ようかん

- ◆材料
 - A) 梨2個(200g)、白こしあん 300g
 - B) シロップ(水400cc、グラニュー糖200g、レモン汁少々)
 - C) 粉寒天 8g
 - ◆作り方
 - ① 梨は4等分に皮をむき、Bの材料をあわせるところに切った梨を入れて、火が通るまで煮る。
 - ② 煮詰めた梨を冷まし、梨だけを取り出してミキサーにかけ、梨ジャムをつくる。
 - ③ 鍋に残ったBのシロップ200ccに、粉寒天を入れて煮溶かし、白こしあんを入れて練り上げ、火を通す。
 - ④ 粗熱をとった③を流し器に流して固める。
 - ⑤ 食べやすく切って盛りつける。
- ※流し器に入れるとき、必ず手肌に冷ましていないと、白あんとシロップが分離するので注意してください。

つきだて花工房・オープン10周年記念

この秋いよいよファイナルイベント

共に
10月4日(水)から
受付・チケット
販売開始

のんびりウォーク 下手渡藩足跡めぐり #2

土のにおい・ふるさとの風を感じてください

コース：下手渡藩天平陣屋跡・
耕雲寺待墓地などを訪れる約6kmコース
開催日：平成18年11月3日(金) 文化の日
時間：午前9時～午後1時
集合：つきだて交流館もりもり
参加資格：小学生以上の健康な方100名
参加料：中学生以上500円
小学生300円(未就学児は無料)
服装：歩きやすい、天候に応じた服装
準備物：お椀・はし・飲み物(いも煮のサービスがあります)
※雨天・小雨決行、荒天時中止
(受付・お申し込み先)
◆つきだて花工房 573-3888 ◆月館中央公民館 572-2133
◆交流館もりもり 571-1777 ◆つきだて保健センター 571-1406

心に宿る想いや夢にちなんだ作品をお届けします。 秋の夜長の小さな朗読会 #5

耳を澄ませば聴こえてくる命あるものすべての声が

作品：「わが友ノーム」(リーン・ポルトフリート)
「ナヌークの贈りもの」(星野道夫)
「おばあちゃんは木になった」(大西暢夫)
(出演)
語り：島岡安芸和
原田麦子・山崎菜摘・中野太郎
演奏：古後公隆(チェロ)・日ノ下慶二(ピアノ)
司会：佐藤研児
演出補：松永さち代 ※地元メンバーによる朗読
「つきだて花工房リーディングアラウドの会」
開催日：平成18年11月21日(火)
開場：午後5時30分 開演：午後7時
料金：1,000円(前売りのみ)
※喫茶・軽食・売店コーナー営業いたします。

お便りコーナー

2年前の4月にはお世話になりました。た。お便りをいただくたびに家内と「又、泊まりにいきたいね」と必ず話題になります。方々、旅行に行つていますが、又泊まりたいと思う宿は本当に少ないです。後になりましたが10周年おめでとうございませう。益々、ご発展されますようお祈りしております。
(小杉敏夫様・愛知県豊川市)

「花」(記憶に間違いなければ)以前、お越しいただいたときは、三春の滝桜や爛漫の花見山をお楽しみいただきましたね。紅葉の福島も自慢です。是非、是非お出かけください。

ふるさとの宿、つきだて花工房が今年で10年の誕生日を迎える平成18年8月8日、おめでとうございませう。この10

秋のきらめく星座

静かな秋の夜空には、神話に満ちた星座がそろう。虫の声を聞きながら、天空の二大ロマンを楽しみましょう。

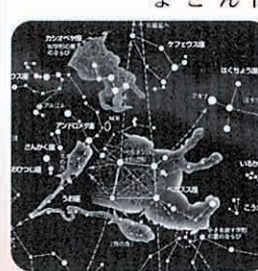
ポイント
「ペガサスの大四辺形」を探す
ペガサスの胴体を形つくる4個の星の各辺を延長してみよう。淡くひっそりと輝く秋の星座を、次々に探し出すことができるはずだ。

★「ケフェウス」古代エチオピアの国王をかたどった星座。北の空にとがった五角形を描きます。
★「カシオペア」カシオペアはケフェウス王の妃。秋の星座神話の発端となった人物です。淡い天の川の流れの中にW字を描きます。北斗七星が見づらい秋から冬にかけて、北極星を見つめる大切な星座です。

年間私たちは実家のような宿として、嬉しい、懐かしい出会いの場として利用させていただきました。ふるさとを離れて40年以上も過ぎるのに月館を訪れるたび、兄弟や幼馴染みとの再会、夜のふけるまでおしゃべりが出来るのも花工房があつてからこそ、私たちの夢を叶えて下さいました。これからも、ずっとずっと、いつまでも、つきだて花工房があつた山々に抱かれて輝いてほしいと願っております。
(富永栄子様・中村志子子様・神奈川県横浜)

「花」空が高く澄んでいます。今日は、栗拾いをしました。ふるさととは実りの秋です。
(細田精子様 保原町)

★「ペガサス」背中に翼を持つ天馬をかたどった星座です。勇士ペルセウス王をのせてアンドロメダ姫の危機を救います。
★「アンドロメダ」母であるカシオペアの器量自慢の罪で、海岸の岩に鎖でつながれた姿をあらわしています。アンドロメダの頭は、ペガサス大四辺形の星のひとつ。また、腰のあたりに見えるアンドロメダ銀河M31は、2300万光年にある渦巻き銀河です。2000億個以上の星の大家族は肉眼でもぼんやり見ることができま



編集後記

保原町で行われた、歌手yaeさんの満月ライブに行きました。今年、お母さんになったyaeさんの歌声は、グッと力強く、まっすぐに心に響きました。そのyaeさんが、「私の通った渡谷の小学校は、校庭が土でなかったこと。お父さんが鴨川に作ってくれた農場に遊びに行くのがとても楽しかったです。そして、今はその鴨川の大自然を味わいながら家族と暮らしていること」などを話してくれました。

「おばあちゃんは木になった」の舞台である岐阜県徳山村がこの10月、とうとうダムに沈みます。この絵本は私に、日本の風景の美しさ、自然の神に感謝する、人々の心の豊かさを教えてくれました。メッセージを込めてお贈りする「秋の夜長の小さな朗読会」是非お出かけください。(佳代)

木もれび26号プレゼント

【絵本プレゼント】
秋の夜長の小さな朗読会#5の作品3作を、各1名様、計3名様にプレゼント★わが友ノーム/ナヌークの贈りもの/おばあちゃんは木になった
官製はがきに住所、氏名、年齢と木もれび通信26号で印象に残った記事及び希望の書籍名を明記し、プレゼント応募券を貼ってつきだて花工房までお送りください。平成18年12月31日の消印まで有効です。

当選者発表
25号プレゼント
若松倫夫さんの花工房の風景セット
佐藤美恵子様(福島市)
桑澤 富子様(福島市)
高野 恵子様(福島市)
斎藤 善三様(月館町)
遠藤 繁雄様(郡山市)
当選者の皆さま、おめでとうございます。

地

水・火・地・風の
四大精霊のうち
ノームは地の精霊